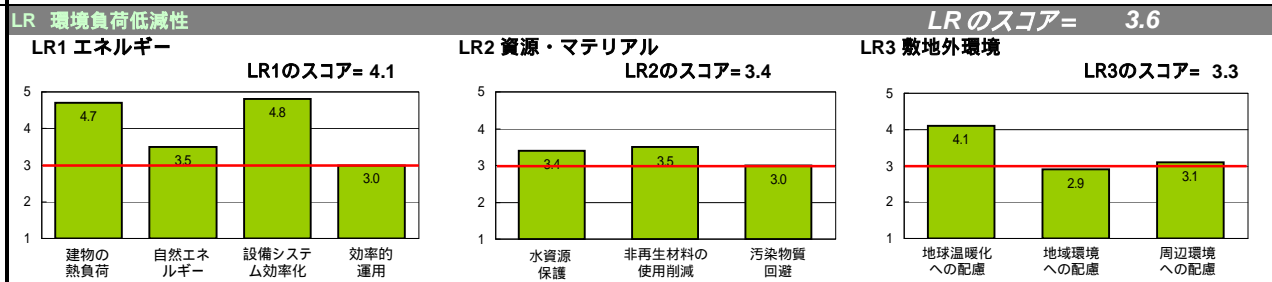
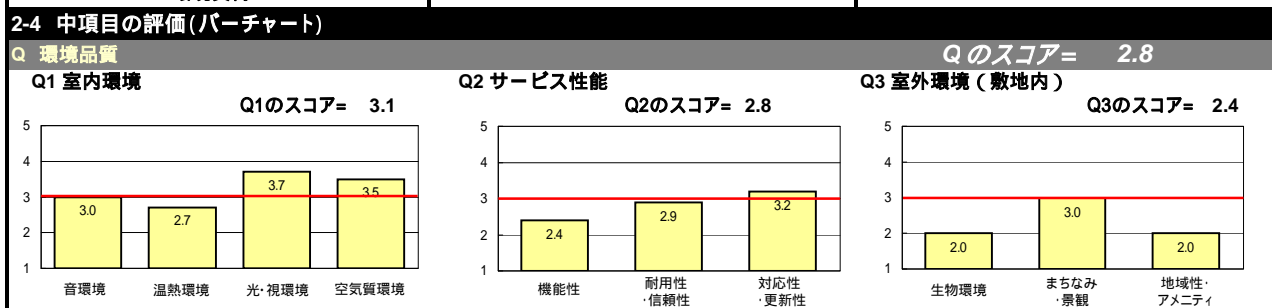
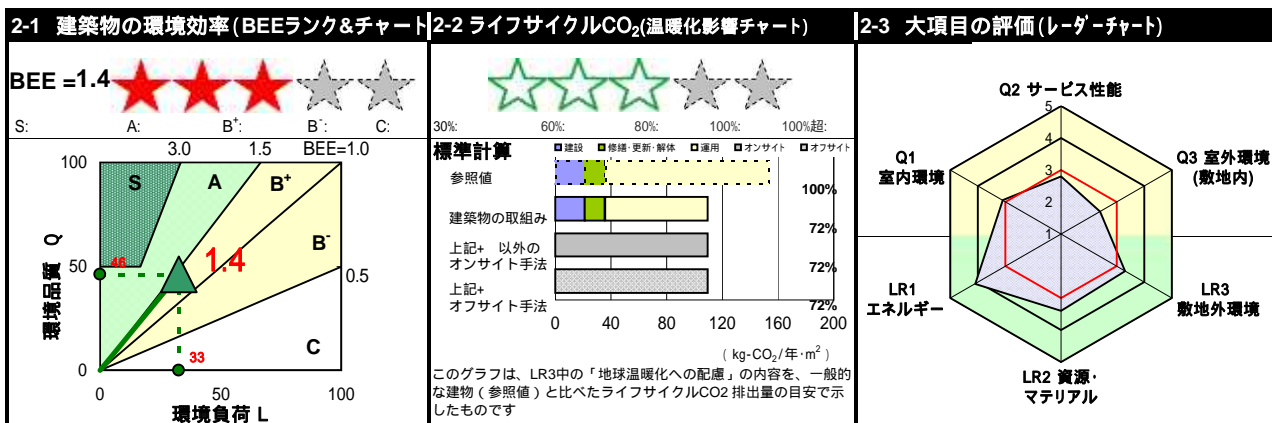
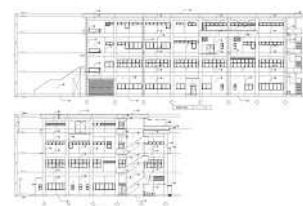


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	海上自衛隊第2術科学校厚生施設	階数	地上4F
建設地	神奈川県横須賀市田浦港町1773番	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	1,111 人
気候区分		年間使用時間	6,023 時間/年
建物用途	事務所, 飲食店, 集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年3月9日
敷地面積	5,970 m ²	作成者	南関東防衛局
建築面積	1,549 m ²	確認日	2012年3月9日
延床面積	5,303 m ²	確認者	南関東防衛局



3 設計上の配慮事項		その他
総合 建物は、専ら自衛官が利用するための食堂、売店及び浴場であるが、機械室の集約に伴う設備機器の大型化、熱源配管、空調ダクトの延長を考慮して、各用途毎に専用の機械室を設けて、設備機器を分散配置することにより、設備機器の小型化、熱源配管、空調ダクトの延長の減少を図り、建物の熱負荷の抑制に配慮した。		0
Q1 室内環境 換気通風及び日射調整について配慮し、使用する建築材料は建築基準法規制対象外となる材料についてもほぼ全面的にホルムアルデヒド放散量規制対策品を使用している。	Q2 サービス性能 建物の外部に面する建具、屋外に設置する設備機器は、塩害及び風圧に対して配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 建設地は長浦湾に面した工業地帯であり、緑の少ない海岸線に面した場所であるが、建物周囲に張り芝を施し、敷地内の緑化に努めた。
LR1 エネルギー 3階食堂に昼光を積極的に利用するためにトップライトを設け、建物の外部に面する窓には高遮熱断熱複層ガラスを採用し、照明器具を省エネタイプとするなど、建物の熱負荷の抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生設備を積極的に採用し、建築材料はリサイクル可能なように分別が容易な材料の使用に努めた。	LR3 敷地外環境 屋外には、周囲に対して光害の原因となる広告照明等は設けず、光害の抑制に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい